

天神大牟田線開業100年 沿線の生活史を描く 鷲崎俊太郎著「西鉄沿線の近現代史」

「経済史の講義でこんな話が聴けるのはうらやましい。しようややコム産業と炭鉱のつながりなど、すぐ興味深かった!」2024年、西鉄天神大牟田線の開業100周年を記念して出版された「西鉄沿線の近現代史」(鷲崎俊太郎著、クロスカルチャー出版、2200円)に読者から寄せられた声だ。

など沿線地域の歴史が現代の生活とどのように結び付いてきたのかを考察している。
【問い合わせ】
クロスカルチャー出版
☎03(5577)6707(午前10時～午後6時)



住みやすい街福岡はなぜ誕生できたか? 著者が西鉄沿線を自ら歩いて調査し、産業や街づくりの変遷など地域の生活史を描き出した。本書は鉄道開通以前にも焦点を当て、古代の役所が置かれていた太宰府

天神大牟田線開業100年 沿線の生活史を描く 鷲崎俊太郎著「西鉄沿線の近現代史」

「経済史の講義でこんな話が聴けるのはうらやましい。しようややコム産業と炭鉱のつながりなど、すぐ興味深かった!」2024年、西鉄天神大牟田線の開業100周年を記念して出版された「西鉄沿線の近現代史」(鷲崎俊太郎著、クロスカルチャー出版、2200円)に読者から寄せられた声だ。



「関縁とオートレースの補助事業」申請受け付け中
関縁の収益で社会的課題の解決を支援

公益関係の関縁とオートレースを結ぶする関係、NKAが2026年度補助事業の申請を受け付けている。同事業は関縁の収益を広く社会に還元するため「促進振興」が公益事業と画し、25年度、対象として採択された事業は945件、約87億円の補助金交付が決定している(25年4月1日現在)。26年度は「チャレンジアップ」をテーマに、さらにさまざまな社会的課題を解決するための取り組みを支援する。



自然科学・人文科学分野の若手研究者を顕彰 第14回三島海鏡賞の受賞者が決定

三島海鏡記念財団は6月、第14回三島海鏡賞の受賞者3人を発表した。
財団は、50周年を迎えた2012年に同賞を創設し、自然科学と人文科学の分野で傑出した研究成果のある45歳未満の優れた若手研究者を顕彰している。



の土屋生さんが受賞した。7月4日に東京駅で贈呈式が行われ、賞状と謝金300万円が贈られた。
【問い合わせ】
三島海鏡記念財団(担当:青山)
☎03(5422)9698

情報宝箱 通商ショッパとれたて! 美味いもの市! 10種の野菜を堪能し「やさしい」を発売

アサヒグループは通商ショッパとれたて! 美味いもの市! で、10種類の野菜を使った通商ショッパの野菜「やさしい」(450ml)を発売した。
お湯で割ってコンطرメーにしたり、いつもの茶碗料理の具付けに加えたりと、用途は多岐。
4種の画面上部野菜をじっくりと炒め、うまみを凝縮し、6種の野菜を独自の配合で加え、風味とろみを引き上げた。さらに、かつお節やかつお、かつお、日置醤油といった海の恵みを含ませ

